

重要！

臨床パストラルケア研修『新カリキュラム』がスタートします

臨床パストラルケア研修新カリキュラムが出来ました！今まで以上に充実した研修内容になると共に、研修生が受講しやすいように幾つかの改善がなされました。日本では他に例を見ないこれらの研修を受講して臨床パストラルケア・ワーカー或いは臨床パストラル・カウンセラーの資格を取得して、スピリチュアルケアが必要とされる様々な施設で働こうではありませんか！新しいカリキュラムの概略を下記に説明します。

なお、この新カリキュラムは2008年3月から実施されます。既に研修課程に入っている方々は従来のカリキュラムに従っても資格認定を獲得できます。詳しくはセンター研修部担当者にお尋ねください。

臨床パストラルケア研修 新カリキュラム の概略

A 一般研修コース

1. 一日研修会 15回のシリーズ

1日研修会に継続的に15回参加し、全テーマを修了した時「研修会修了証」が発行される。

2. 資格認定予備課程の 科目 「人間関係とコミュニケーション・傾聴」5日間研修、及び 科目 「価値観の明確化」3日間研修

資格認定コースとは独立してこれら二つの科目の研修会に限り「オリエンテーション」なしで受講が可能である。受講者にはそれぞれの「科目修了証」が発行される。

ただし「資格認定」を目指す場合は下記の「B 資格認定コース」要項の通り「オリエンテーション」を受けてから「資格認定予備課程」に進む事。しかし、最初は「資格認定」を目指さず、科目Ⅰ、科目Ⅱだけを受講した後に考えが変わり、「資格認定」を目指そうとする場合には「オリエンテーション」を受けさえすれば、改めて科目Ⅰ、科目Ⅱを受講しなおす必要はない。

B 資格認定コース

1 オリエンテーション 1日間

参加資格

- ・ 研修が臨床パストラルケアを目指す方を対象にしているので、現在精神的疾病の治療

中であったり、近親者との死別6ヶ月以内ではないこと。

- ・ 定められた書類を提出すること(研修案内参照)

オリエンテーションの内容(地域部会各ブロックで企画開催)

- ・ センター、研修会の案内、研修病院、認定に至る過程、事務手続きなどの説明
ブックレポート、教科書、訪問記録作成方法の説明
- ・ 守秘義務について
- ・ 質問、ディスカッション、先輩の体験談、追加説明。
センターの意義、理念、センター会員入会案内
- ・ センターが委嘱している講師、スーパーバイザーの紹介
- ・ スピリチュアルケアに関する導入講義(1 - 2時間)
- ・ ワーク(フィッシュボーリング、その他など)
- ・ 会員との交流、感想の分かち合いなど
- ・ 面接
- ・ オリエンテーション参加証が発行される(何年でも有効)

2 資格認定予備課程

オリエンテーション参加証を提示

参加前にブックレポート(1冊)提出

事前に提示される資料を予習(研修ごと)

研修会に参加(、の順で受けること)

- ・ 科目 「人間関係とコミュニケーション、傾聴」5日間
- ・ 科目 「価値観の明確化」3日間

研修会内でスーパーバイザーのグループあるいは個人的なスーパーヴィジョンを受ける

本課程修了者には「資格認定予備課程修了証」が発行される

3 資格認定前期課程 (この課程は2年以内に修了のこと)

「資格認定予備課程修了証」を提示

参加前にブックレポート2冊提出

事前に提示される項目の予習(研修科目ごと)

5日間研修会に参加

以下の研修科目から二つを選択して受講。いずれも順不同に参加可能

- ・ 第 科目(スピリットとスピリチュアル)
- ・ 第 科目(スピリチュアルな痛み)
- ・ 第 科目(スピリチュアルケア)
- ・ 第 科目(哲学的人間論)
- ・ 第 科目(神学的・宗教的人間論)

研修中に訪問記録検討を受けその訪問記録(4回)をセンターに提出
人生の分かち合い1回(研修後に原稿を提出)
2回の研修会中にスーパーバイザーの個人面接を1回のみ受ける

前期課程修了者が「臨床パストラルケア・ワーカー資格認定」を受けるための要件

- ・ 会員であること
- ・ 研修会参加後訪問記録(6回)のスーパーヴィジョンを受け、センターに提出する
- ・ スーパーヴィジョンを受けない訪問記録(10回)をセンターに提出
- ・ 研修会参加後ブックレポート(3冊)をセンターに提出し、合格評価を受ける
- ・ その他センターが提示する必要書類を提出
- ・ 自分の信念の基となる哲学或いは神学講座20時間受講(時間数が明記されている受講証明書、および評価証を3年以内に提出)

「臨床パストラルケア・ワーカー資格認定」の申請(自己申請)

認定審査は年2回。申請の提出期限は毎年3月末日と9月末日。

4 資格認定後期課程 (この課程は2年以内に修了のこと)

「資格認定前期課程」修了者のみこの課程に進む事ができる。

参加前にブックレポート(2冊)提出

事前に提示される項目の予習(研修科目ごと)

5日間研修会に参加

以下の研修科目のうち、以前受講しなかった科目を受講

順不同に参加可能。ただし第 科目は最後に受講のこと

- ・ 第Ⅲ科目(スピリットとスピリチュアル)
- ・ 第 科目(スピリチュアルな痛み)
- ・ 第 科目(スピリチュアルケア)
- ・ 第 科目(哲学的人間論)
- ・ 第 科目(神学的・宗教的人間論)
- ・ 第 科目(個人の成長と成熟。心理学的、哲学的、神学的/宗教的人格の統合)

研修中に訪問記録検討を受けその訪問記録8回分をセンターに提出

人生の分かち合い1回(研修後原稿を提出)

研修会内でスーパーバイザーの個人面接を1回受ける

後期課程修了者が「臨床パストラル・カウンセラー資格認定」を受けるための要件

- ・ 研修会参加後訪問記録(6回)のスーパーヴィジョンを受け、センターに提出
- ・ 研修会参加後ブックレポート(2冊)をセンターに提出し、合格評価を受ける

- ・その他センターが提示する必要書類を提出
- ・自分の信念の基となる哲学あるいは神学講座 100 時間受講 (時間数が明記されている受講証明書、および評価証を4年以内に提出)

- ・「臨床パストラル・カウンセラー資格認定」の申請 (自己申請)
認定審査は年2回。申請の提出期限は毎年3月末日と9月末日。

C. 資格認定取得後の研修課程

- 1) 資格認定の更新を5年ごとに行う^{*1}
- 2) 研修会講師養成講座^{*2}
- 3) スーパーヴァイザー養成講座^{*3}

^{*1} 詳細は研修事務部に問い合わせのこと

^{*2} 詳細は当「スピリチュアルケア誌」pp9-11 参照

^{*3} 詳細は当「スピリチュアルケア誌」p12 参照